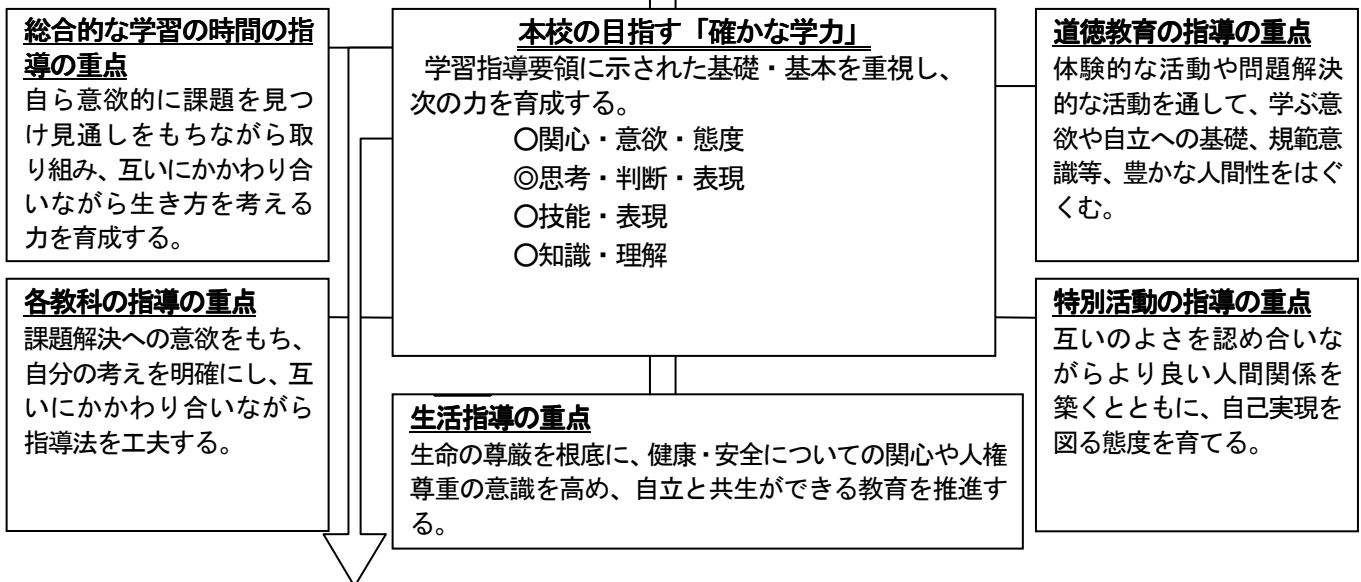
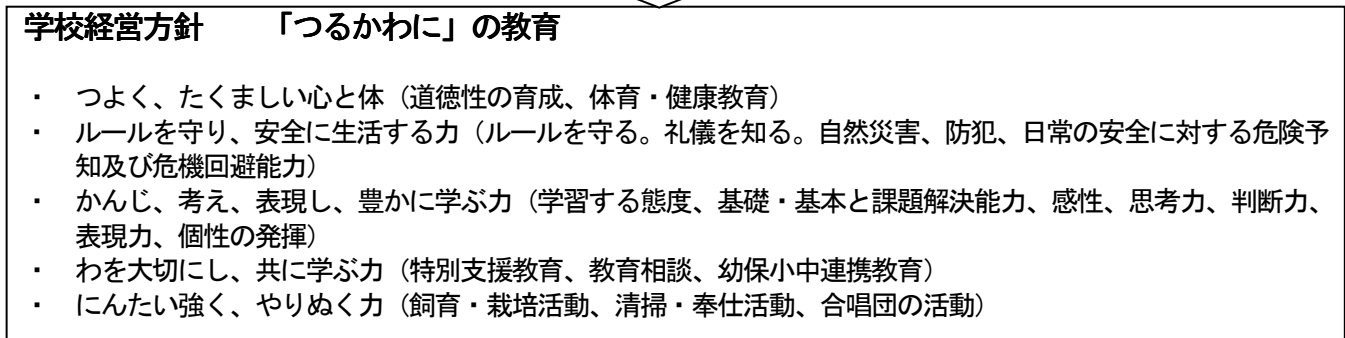
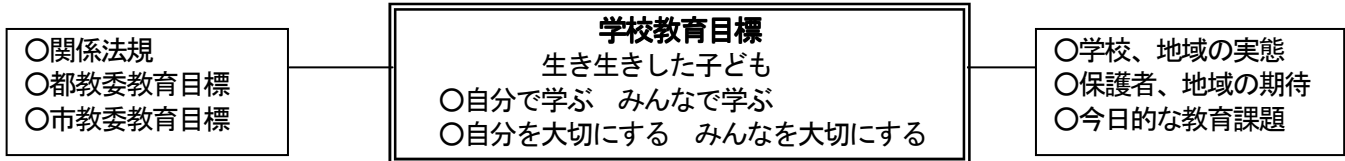
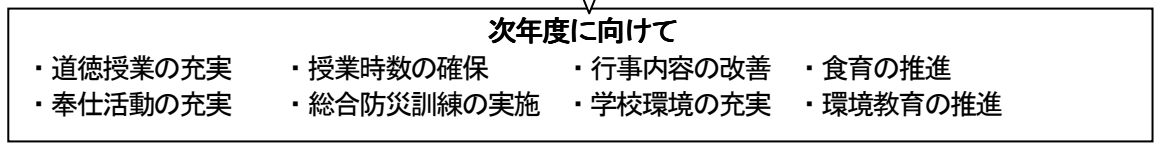
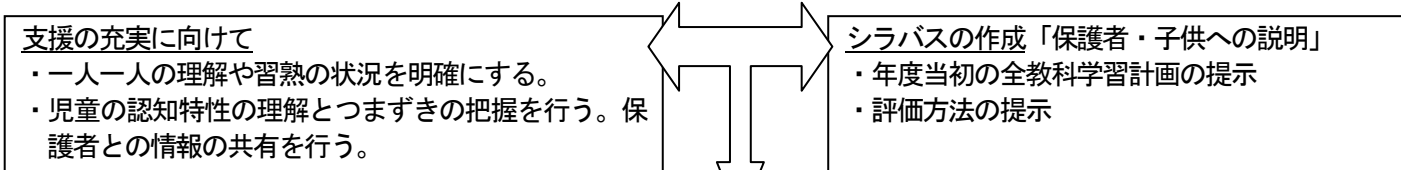


## 2011年度 授業改善推進プラン



本校の授業改善に向けた視点				
<p><b>問題設定の工夫</b> 対立、葛藤のある課題設定 考えを深める教材の工夫</p>	<p><b>個々の問題解決の工夫</b> 板書の工夫 プレテストの実施 ワークシートの活用</p>	<p><b>具体的な活動の工夫</b> 具体物の操作 実験での仮説検証</p>	<p><b>分かり合うための学習形態の工夫</b> 児童の実態に応じた、言語活動のあるグループ活動</p>	<p><b>考えの吟味・振り返りの工夫</b> 教師による評価 相互評価 自己評価</p>
<p><b>自分で学ぶ姿①</b> 課題に意欲的・積極的に取り組んでいる。</p>	<p><b>自分で学ぶ姿②</b> 課題を把握し、既習事項を生かしながら問題を解決している。</p>	<p><b>自分で学ぶ姿③</b> 教材を具体的に操作したり観察したりする体験的な活動を通して考えている。</p>	<p><b>みんなで学ぶ姿①</b> 友達と積極的にかかわり合いながら学んでいる。</p>	<p><b>みんなで学ぶ姿②</b> 話し合いの中で互いの意見の違いやよさを認め、自分の考えをまとめている。</p>



# 第1学年授業改善推進プラン

## 授業改善の基本方針

- ①基礎基本の定着を図る指導の充実
- ②一人一人の子どもよさや可能性を認め、生かし、伸ばす指導の充実
- ③問題を見い出して追究し、考え表現する指導の充実

	児童の実態と課題	授業改善の具体策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせや読書を楽しんで取り組む児童が多い。</li> <li>・おしゃべりはできるが発表の仕方は指導が必要である。</li> <li>・全体的に見ると、思いを伝えようとする意欲はある。</li> <li>・教師や友達の話を中心して聞くことができない。短時間で飽きる。</li> <li>・拗音、促音、助詞の使い方が定着していない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き読み聞かせなどを行い読書への興味をもたせる。</li> <li>・基本的な発言の形をおさえ、発言の機会が全員に与えられるよう工夫する。</li> <li>・朝のスピーチなどを取り入れ、大きな声ではっきりと話すことができるようにする。</li> <li>・話している人の顔を見て話を聞くなど基本的な聞き方を身に付けるとともに、話に反応しながら聞けるようにする。</li> <li>・単語の小テストを定期的に行い、短い文を書きながら基礎基本を定着させる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に意欲的に取り組める児童が多い。</li> <li>・10までのたし算が定着し、ひき算は具体物を使いながらできるようになってきた。</li> <li>・文を読み取って考えるちから、不十分な児童が見られる。</li> <li>・理解の差が大きい。</li> <li>・家庭学習でのプリント学習が有効だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算練習を繰り返し行い、習熟を図る。</li> <li>・具体物やブロック操作を通して、数の概念や式と結び付け計算の意味の理解を深めるようにする。</li> <li>・ノートの使い方や問題文の読み方等学習の仕方を丁寧に指導する。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの人や自然・学校生活などに興味をもって取り組んできた。</li> <li>・朝顔の成長の様子や変化に気付きながら世話をしてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間を通して自分たちの生活する場での活動を計画的にこなしていく。</li> <li>・グループ活動などを取り入れ、友達同士の交流を深めていく。</li> </ul>

	児童の実態と課題	授業改善の具体策
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの児童が興味・関心・意欲をもって楽しく活動している。</li> <li>・歌唱においては集団の時には元気よく歌うが、少人数・個人では自己表現が苦手な児童がいる。</li> <li>・鍵盤ハーモニカの学習では楽しみながら練習している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心・意欲をもてるよう、リズム遊びや体を動かす活動等を取り入れながら工夫して指導していく。</li> <li>・グループ活動を取り入れ、少人数で表現する場面を設定する。</li> <li>・繰り返して練習する時間、個別指導の時間を設定する。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの児童が興味・関心・意欲をもって楽しく表現活動をしている。</li> <li>・切る・貼る・折る・塗る等の基本的な技術が身に付いていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの児童も興味・関心・意欲をもてるよう、題材名を工夫する。</li> <li>・切る・貼る・折る・描く・塗る等複数の技法を組み込んだ題材の工夫を図る。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで仲良く体を動かすことを楽しんでいる。</li> <li>・並び方、準備運動、用具の扱いも少しずつ分かってきている。</li> <li>・運動会の指導で、走る力やリズムに合わせた動きが身に付いてきている。</li> <li>・休み時間の固定施設での遊びを通して、遊びのルールが分かってきている。</li> <li>・着替えや素早く並ぶなどの集団行動などの意識はまだ十分に育っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が安全に気をつけながら、仲良く楽しく運動できるためのルールの徹底を図る。</li> <li>・危険な遊び方が見られた場合には、安全な遊び方を周知させる。</li> <li>・時間を決め、達成できたところを評価し、励ます。</li> </ul>

# 第2学年授業改善推進プラン

## 授業改善の基本方針

- ①基礎基本の定着を図る指導の充実。
- ②一人一人の子どもよさや可能性を認め、生かし、伸ばす指導の充実
- ③問題を見い出して追究し、考え表現する指導の充実。

	児童の実態と課題	授業改善の具体策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの児童が、話し言葉の発音が不明瞭になりやすい。</li> <li>・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することが苦手な児童が見られる。</li> <li>・既習の漢字の読み書きが身に付いていない児童が見られる。</li> <li>・語と語、文と文の続き方に注意して文章を書くことが難しい児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声・口形を意識させ、正しい発音ができるように指導する。</li> <li>・文中の語の意味を理解させ、教科書の読みものや音読集等で練習する。</li> <li>・筆順・字形・読み方・意味等に留意して、繰り返し練習をさせる。</li> <li>・助詞や接続詞の適切な使い方を学ばせ、一つ一つの文の形を正しく整えるように指導する。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12時制や24時制で時刻を正しく表す、時間の計算をすることができない児童が数名いる。</li> <li>・長さの単位を正しく使うことができない児童が数名いる。</li> <li>・筆算の仕方は、ほぼ全員が理解しているが、文章題では計算ミスや間違った立式をしてしまう児童が1/5ほどいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数学習においては、スパイラル学習を取り入れ、確かな学力を身に付けさせる。</li> <li>・授業の中に操作活動を入れ、日常でも時計や長さを繰り返し使い、具体的な場面の中で定着を図る。</li> <li>・繰り返し計算練習を行い、習熟を図る。</li> <li>・問題文は、挿絵やブロック図、テープ図を用いて、意味を理解し、正しく立式ができるように指導する。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や体験など興味をもって取り組める児童が多い一方、観察したことを比較して捉えたり、その理由を考えたりすることについては十分ではない。</li> <li>・ミニトマトを育てていくことに関して、初めは興味・関心があるが、日がたつに連れて、その関心が薄くなってしまふ児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物等を観察する時は、視点を与えて深い気づきができるようにする。また、手本となる作品を見せ、どこがよいかを考え、良い所を真似させる。</li> <li>・授業内で成長の様子を報告させたり、みんなで定期的に観察するなど、興味・関心が持続できるようにする。</li> </ul>

	児童の実態と課題	授業改善の具体策
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの児童がリズムに乗って歌うことを好んでいるが、音の高さに気を付けたり、声の出し方や発音に気を付けたりして歌うことが難しい。</li> <li>・楽器に興味を持っているが、リズムや音程を正しく演奏できないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌うことの楽しさを大切にしつつ、音程感を養う。また、自分の声の出し方に意識を向けさせ、美しい声を出せるように指導する。</li> <li>・基本的な練習を繰り返し、演奏力を高める。</li> <li>・音楽会の練習では、曲想にあった楽器に親しみ、特に鍵盤ハーモニカの指使いやタンギングに気を付けて演奏できるようにする。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの活動にも関心をもち、進んで取り組んでいる。自分なりに描きたいものや作りたい物を表現しようとしている。</li> <li>・はさみや筆など、道具の正しい使い方が十分でない。</li> <li>・友達作品のよさを感じることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な技能が身に付くよう、折り紙遊びやはさみ、のりを使った工作、絵の具やクレパスの使い方など、楽しく練習できる活動を取り入れる。</li> <li>・行事や季節のものを題材にし、表現しやすい活動の工夫を行う。</li> <li>・作品をお互いに発表し合ったり、見せ合ったりする活動を取り入れる。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄棒運動において、支持、ぶら下がり、逆さ姿勢、回転などの基本的な動きができる児童に偏りが見られ、運動技能は個人差が見られる。</li> <li>・苦手な児童に対して、積極的に挑戦しようとする意欲に欠ける児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・器械運動では安全に留意し、基礎的な動きを着実に身に付けさせる。全ての児童が技を身に付ける喜びを味わうことができるように学習カードを工夫したり、グループで活動したりして、意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>・スモールステップを考慮し、安心して運動に取り組める環境を設定する。</li> <li>・体力テストの結果をふまえ、授業の導入時に鬼ごっこなど俊敏性を高める運動を取り入れていく。</li> </ul>

# 第3学年授業改善推進プラン

## 授業改善の基本方針

- ①基礎基本の定着を図る指導の充実。
- ②一人一人の子どもよさや可能性を認め、生かし、伸ばす指導の充実
- ③問題を見い出して追究し、考え表現する指導の充実。

	児童の実態と課題	授業改善の具体策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語に対する関心をもち、進んで読書する児童が多い。</li> <li>・中心に気を付けて話したり聞いたりしようとする指導の工夫が必要である。</li> <li>・中心や段落相互の関係を捉えて読みだり書いたりすることの定着を図る必要がある。</li> <li>・文字や言葉を正しく読み書きする力の差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し方・聞き方のポイントや話型を指導する。また、班での話し合い活動や朝のスピーチなど発表の機会を多く設け、相手を意識して取り組むようにさせる。</li> <li>・作文や報告文などの文を書く時や読む時に段落を意識するよう指導する。</li> <li>・日常の音読カードや漢字練習を繰り返し練習させ、実際に使える場面を増やす。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科見学や地域めぐりを通して地域社会の様子に興味・関心をもち、意欲を持って学習に取り組んでいる児童が多い。</li> <li>・調査して分かったことをメモを取ることが徐々にできるようになってきたが、適切に表現する力は十分とはいえない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的な活動を多くし、地域社会と自分の生活のつながりを感じさせ、関心を高める。</li> <li>・観察・調査し、資料を活用しながら小見出しを付けたり、内容ごとにコーナー分けしたりしながら社会科新聞などにまとめる活動を取り入れる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの児童はどの単元も意欲的に取り組んでいた。</li> <li>・計算問題に自信があり、計算ミスなく解ける児童が多い一方、わり算の学習では、かけ算九九をうまく使えず、つまづいている児童が見られる。</li> <li>・時間と時刻で、時間を求める問題が苦手な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材・教具を工夫し、ゲームや具体物の操作などの算数的な活動を多く取り入れる。</li> <li>・計算問題や時間を求める問題についてはプリントやドリルでの反復学習を行い、習熟を図る。</li> <li>・少人数指導で苦手な児童をフォローアップできるように、担任との連絡を密にする。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然に興味・関心を持つ児童が多い。</li> <li>・ワークは、「題意をくみとれない」や「答え方が身に付いていない」児童が多い。</li> <li>・観察・実験のまとめの仕方が身に付いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昆虫も植物も個人で飼育・栽培をしたことによって、尚一層、興味・関心を高めることができた。体験的な活動を継続していきたい。</li> <li>・ワークの題意を解説し、「多い」と「少ない」、「増える」と「減る」などの対応している語句で解答するようにさせる。</li> <li>・まとめに必要な事項（日にち、天気、気温、場所など）を網羅したワークシートを使用する。</li> </ul>

	児童の実態と課題	授業改善の具体策
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に親しみ、楽しく生き生きと表現しようとする児童が多い。</li> <li>・歌うことが好きな児童が多いが、正しい姿勢や無理のない柔らかな発声、曲想にふさわしい表現の仕方は、まだ十分とはいえない。</li> <li>・リコーダーの学習においては、きれいな音色で正しく演奏できる児童が多いが、個人差が大きく、音やタンギングを正しく演奏できない児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな音楽を聴く機会を設け、意欲をもって歌える楽しい歌を取り入れていく。</li> <li>・グループ発表などで、お互いに聴きあい、表現を工夫できるようにする。また、よい表情や発声で歌える児童の歌い方を他の児童に見せ、自分の表現に生かせるようにする。</li> <li>・毎回の授業で必ずリコーダーの時間を作り、きれいな音色で正しく演奏できるようにする。苦手な児童に留意し、少しずつ進歩できるよう励まし、指導する。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで取り組み、作りたいものに合わせて、材料を工夫して表現しようとする児童が多い。</li> <li>・発想を広げ、表現方法を工夫することが苦手な児童がいる。</li> <li>・友達の作品のよさを感じる事ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が興味を持って取り組めるような題材を設定する。</li> <li>・多様な発想を引き出せるように表現の多様性を感じ取る活動を取り入れる。</li> <li>・作品のよさをお互いに認め合える場を多く設定する。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と協力して楽しく運動やゲームをしている児童が多い。</li> <li>・運動の技能・基礎体力が低く、特に反復横とびが低い傾向にある。</li> <li>・健康・安全については理解がまだ十分でなく、生活に生かせていない。</li> <li>・めあてをもって運動に取り組む児童は多いが、運動の動きに関する知識が十分でない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が健康・安全に運動やゲームができるような環境をつくる。</li> <li>・運動技能を修得するために、技術別指導や、児童が互いの運動を見合い、意見交換をする場を設ける。</li> <li>・授業の導入で、鬼ごっこやラダートレーニングなど敏捷性を高める動きを取り入れていく。</li> </ul>

# 第4学年授業改善推進プラン

## 授業改善の基本方針

- ①基礎基本の定着を図る指導の充実。
- ②一人一人の子どもによさや可能性を認め、生かし、伸ばす指導の充実
- ③問題を見い出して追究し、考え表現する指導の充実。

	児童の実態と課題	授業改善の具体策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筋道を立てて話し、話の中心に気を付けて聞く指導の工夫が必要である。</li> <li>・自分の思いや考え調べたこと等を段落に気を付け書く指導が必要である。</li> <li>・物語文の心情や様子、説明文の要旨を読み取らせる指導が必要である。</li> <li>・語彙を増やし、漢字の読み書きの力の定着を更に図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し方、聞き方のポイントや話型を指導し、取り組みやすくする。</li> <li>・作文や報告文等、文を書く機会を多く設け、読み合いでよさを認め合う。</li> <li>・自分が読み取った内容の交流を大切にし、日常の読書活動も活発にする。</li> <li>・日常の漢字学習の短文作りを充実させ、実際に使える場面を増やす。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道キャラバンやゴミ収集車の見学など、実際の映像や体験などを通して興味をもって学習できている。</li> <li>・新聞や本などに、学んだことや調べたことを絵や文を使い、分かりやすくまとめることができる。</li> <li>・自ら疑問をもち調べようという意欲や、調べる方法を選択して調べる力が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よい資料、よい体験を今後も児童に触れさせていく。</li> <li>・友達の作成した新聞などを互いに読み合い、良さを取り入れられるようにする。</li> <li>・初めは、資料を教師が用意し、調べやすい環境を作っていく。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「2けたのわり算」の解き方が定着していない。</li> <li>・図形の作図等、全体指導だけでは身に付かない児童がいる。</li> <li>・図形の分類など、みんなで意見を出し合うことは楽しんで学習できた。</li> <li>・応用力や粘り強く思考する力に欠ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を掲示したり、繰り返し練習をさせたりする。</li> <li>・少人数指導のよさを生かし、個別指導にも力を入れていく。</li> <li>・苦手意識をもっている子にはスモールステップで励ましていく。</li> <li>・具体物を用いたり、視覚に訴える教材教具を活用する。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「予想→実験→結果から考える」という学習の流れが身に付いている。</li> <li>・実験を楽しんではいたが、学習内容の定着が十分ではない。</li> <li>・観察カードの記録の仕方や調べ方などが、身に付いていない。</li> <li>・興味をもって学習できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験後のまとめの時間をしっかりととつ。</li> <li>・観察の仕方や調べ方など、視点を明らかにし、掲示するなど工夫する。</li> <li>・興味・関心を大切にしていけるとともに、導入の仕方をより工夫していく。</li> </ul>

	児童の実態と課題	授業改善の具体策
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のルールが定着してきており、進んで表現することができる。</li> <li>・自分の考えや意図を明確にもって意見を言ったり、表現したりすることが十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習ルールを常に確認し、今の学習環境を維持していく。</li> <li>・曲想の違いや変化、特徴を捉えられるよう教材や学習課題を工夫する。</li> <li>・曲想の違いや変化について言葉で表現したり、友達の考えを取り入れたりして主体的に学習できるようにしていく。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚を働かせて、表したいことにあわせて材料を工夫して使い、表現することはできるが、自分の思いを表現するために構成を考えることは苦手とする児童がいる。</li> <li>・表現の意図を読みとり、よさや美しさを表したり、感じ取ることが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な発想を引き出し、創造力が発揮できるように表現の多様性を感じ取る活動を取り入れる。</li> <li>・課題の意図を理解させ、よさや美しさを表現したり、感じとれる活動を取り入れる。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的に運動を行っている児童は、力が付いているが、苦手意識をもっている児童は体を動かすことや楽しんで運動することを避けてしまう。</li> <li>・グループで行う運動などでは、励まし合ったり、協力し合うという姿勢がまだ身に付いていない児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくりの運動にも十分取り組み、様々な運動を楽しみながら身に付けることができるよう指導を工夫する。</li> <li>・チームの仲間と協力してゲームに取り組んだり、器械運動でめあてをもって取り組んだりする中で、友達と見合う活動も取り入れる。</li> <li>・安全面に気を付け、安心して取り組むことができるよう配慮する。</li> </ul>

# 第5学年授業改善推進プラン

## 授業改善の基本方針

- ①基礎基本の定着を図る指導の充実。
- ②一人一人の子どもよさや可能性を認め、生かし、伸ばす指導の充実。
- ③問題を見い出して追究し、考え表現する指導の充実。

	児童の実態と課題	授業改善の具体策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>辞書を引いて漢字の意味を理解し、活用する力が身に付いていない。</li> <li>尊敬語・謙譲語・丁寧語の理解と活用が十分ではない。</li> <li>自分の考えを100文字程度にまとめたり、情景や心情が伝わってくるような作文を書いたりすることを苦手とする児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時間に机上に辞書を置くようさせる。漢字を意味内容で覚え、文章を書くことができるように指導する。</li> <li>反復学習を徹底し、家庭でも目上の方には尊敬語を使うように協力してもらおう。</li> <li>作文指導を行う。読書の励行により語彙を増やし、短い文に自分の考えを盛り込めるようにする。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>関心をもった事柄について、意欲的に調べる児童が多いが、考えたことを適切に表現することが苦手な児童が多い。</li> <li>グラフ等の資料を比較・検討し、考察したりまとめたりすることが苦手な児童が多い。</li> <li>地形や都道府県、世界の国名についてしっかりと覚えていない児童がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験型の授業や、映像資料を活用した授業を行い、より深い考察ができるように指導を工夫する。</li> <li>図表の読み取りを徹底する。色々な図表を読み取り、関連して考えられるように指導する。</li> <li>小テストを実施し、地形や県名、国名を漢字で書くことができるように指導する。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>面積や体積など単位換算ができない、小数など位取りの位置の処理ができない児童が数名いる。</li> <li>量感が育っていないので見当違いな数字が出てくる。</li> <li>約2割は論理的に考えることができる。</li> <li>ほとんどの児童は計算が速い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な場面や既習事項をもとに課題を明確にして問題解決を図る。</li> <li>よく発言をする児童には、考え方をさらに変えた方法で取り組ませ、発言が活発でない児童はノート指導により自分の考えを明確にさせる。</li> <li>毎時間毎のめあてを明確にし、学習の終わりには、感想等を書き次の学習に生かすようにする。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>予想や考察等をしっかり書ける児童が多い反面、観察や実験方法の図を、自分でイメージして表現することが苦手とする児童がいる。</li> <li>話し合いでは、ルールを守って参加できる児童が多い反面、それを自分自身にとって有効に活用することを苦手とする児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験方法の図の模倣を取り入れながら、自分の実験イメージや考えを表現する機会を増やす。</li> <li>話し合い活動において、友達と自分との考えの違いをはっきりさせ、そこから自分にとって役に立つ情報を引き出すよう意識させる。</li> </ul>

	児童の実態と課題	授業改善の具体策
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習に意欲的に取り組み、進んで表現している。</li> <li>歌唱の基礎基本が定着している。</li> <li>今後は様々な楽器の奏法に慣れ、音や声の重なりに親しませていきたい。</li> <li>グループでの伝え合いでは児童の考え方や発言内容に差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の学習には意欲があるが、話し合いの言葉使いや教室移動などの学習ルールにやや乱れがあるので再度守らせていく。</li> <li>合唱は部分三部を、合奏および合唱奏は複数の楽器での重なりやバランスに気を付けて表現できるようにする。</li> <li>学び合いを充実し、子供たちの相互評価・自己評価を取り入れ、他者の発言を取り入れよりよい表現ができるようにする。</li> <li>音楽会の練習では曲想にあった楽器に親しみ、特に鍵盤ハーモニカで指使いやダンギングに気をつけながら楽しく演奏していく。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>感覚を働かせて、表したいことに合わせて材料を工夫して使い、表現することはできるが、自分の思いを表現するために構成を考えることは苦手とする児童がいる。</li> <li>表現の意図を読み取り、よさや美しさを表したり、感じ取ることが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な発想を引き出し、創造力が発揮できるように表現の多様性を感じ取る活動を取り入れる。</li> <li>課題の意図を理解させ、よさや美しさを表現したり、感じとれる活動を取り入れる。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの運動の特性に対する知識が十分でなく、上達のための手立てを理解できていない。</li> <li>ある運動はよくできるが、ある運動になると極端にできないというように、運動能力がアンバランスなところもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの運動の分野での特性を理解し、それを伸ばすための具体的な活動を授業の中に取り入れる。</li> <li>運動の基本である「走る」ことに重点を置いて、持久走月間などで運動するようにする。</li> <li>体力テストの結果をふまえ、遊びを通していろいろな動きを取り入れていく。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での裁縫経験や調理経験が少ない児童が多い。</li> <li>ガス調理器の取り扱いがきちんとできていない児童がみられる。(電磁調理器の普及に伴って)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な知識や技能が身に付くように何回も繰り返し練習をさせていく。</li> <li>裁縫道具の取り扱いについて、安全面に配慮した扱い方の徹底を図る。</li> <li>家庭でも積極的にお手伝いをさせ、調理器具に慣れさせるように、保護者への協力を依頼する。</li> </ul>

# 第6学年授業改善推進プラン

## 授業改善の基本方針

- ①基礎基本の定着を図る指導の充実
- ②一人一人の子どもよさや可能性を認め、生かし、伸ばす指導の充実
- ③問題を見い出して追究し、考え表現する指導の充実

	児童の実態と課題	授業改善の具体策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の気持ちを想像することに意欲的な児童が多いが、問題に合わせて適切な答え方をすることには課題がある。</li> <li>・討論会では、自分の考えを準備して話すことはできるが、相手の主張を受けて自分の考えを述べることには差がある。</li> <li>・漢字や語句の習得は、定着率がやや悪い。特に、下位の児童の得点が低く課題がある。</li> <li>・時系列にそって書くことは比較的できるが、語彙力が少なく、自分の考えを豊かに表現することに課題がある。また、個人差も大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本を常に手元に置き、朝自習や空き時間に読むことで読書を習慣づける。</li> <li>・テストの返却時に適切な答え方を指導し、積み重ねていく。</li> <li>・友達の意見をよく聞く習慣を向上させ、友達の意見に自分の考えを付け足したり比較したりして話すスキルを身に付ける。</li> <li>・漢字や語句が定着するよう、練習の段階で書き順や使い方などを丁寧に指導し、宿題やテストでくり返し書く機会をつくる。</li> <li>・語彙を広げるために、マップを活用する。また、日常的に書く習慣を身に付けるために日記指導を行う。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史に興味をもち、意欲的に取り組む児童が多い。ノートの取り方も工夫が見られる。</li> <li>・複数の資料から必要な内容を抜粋し分かり易くまとめる力は、個人差が大きい。</li> <li>・個々の出来事や人物については比較的理解できているが、時代の流れと結びつけて整理できていない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめたことを発表し合い、互いの良さを学び合えるようにする。</li> <li>・視聴覚教材や資料を使って、時代背景を説明したり、年表にまとめたりする学習を取り入れる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別に3コースに分かれて学習している。基礎を重視するコースでは、演算決定の力が弱い上に、基礎的な計算力が身につけていない。発展的なコースでは、既習事項を使いながら様々な考え方で自力解決し、友達と交流を図っている。ノートの使い方はよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎を重視するクラスでは、既習事項の振り返りを必ず行い、課題を簡易にしたたり、具体物を操作したり、問題数を厳選したりする。発展的なクラスでは、様々な考え方の中から、よりよいものへの話し合いを重視し、また確実な計算力を身につけさせたい。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験に意欲的に取り組むが、予想を立てたり実験の方法を考えることが苦手である。</li> <li>・自然や物理的な事象に対する知識を持つ子は多く見受けられるが、実経験を伴ったものは少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想や実験の方法をノートに記述し、他の子どもと話し合う活動を意図的に取り入れる。</li> <li>・実経験を伴う実験や観察を多く取り入れるとともに、校内でできないものに関しては視聴覚機器を有効活用する。</li> </ul>

	児童の実態と課題	授業改善の具体策
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示された課題はよく取り組み、意欲もあるが、自分の考えや意図を他者に伝えることに個人差がある。</li> <li>・変声期に入った児童が増え、表現にとまどいを感じ始めている。</li> <li>・多くの音の重なりを感じて特徴を聴いたり、バランスやテンポ、音質、音量を工夫したりする学習へ発展させたい。</li> <li>・様々な音楽や歴史にふれる学習が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの取り組み課題をより具体的に、明確にし、意見や考えを言語で言ったり、友達に伝えたりできるようにする。</li> <li>・ワークシートを活用する</li> <li>・学習課題が同じである混声合唱教材を使用し、児童の実態や成長にあった表現ができるようにする。</li> <li>・歌唱で身についた表現力をもとに、さらなる重なりが多くなる合奏で、音楽を形作っている要素に気づいたり、表現したりしていく。</li> <li>・一学期に学習した教材「ふるさと」から、発展学習できるよう学習計画を工夫する。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚を働かせて、表したいことにあわせて材料をくふうして使い、表現することはできるが、自分の思いを表現するために構成を考えることは苦手とする児童がいる。</li> <li>・表現の意図を読みとり、よさや美しさを表したり、感じ取ることが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な発想を引き出し、創造力が発揮できるように表現の多様性を感じ取る活動を取り入れる。</li> <li>・課題の意図を理解させ、よさや美しさを表現したり、感じとれる活動を取り入れる。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な体力差が激しい上に、基礎的な技能の習得も個人差が激しい。チームワーク良くゲームに取り組むが、勝敗を素直に受け入れられない児童も見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・跳び箱運動など器械運動では、技の習得につながるスキルをスモールステップで学習させる。安全面の配慮を行い、児童の恐怖心を少なくする。ゲーム等では、作戦を立て個人のめあてを考え、勝敗につながる達成感を味わわせる。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活における衣食住の基礎的な技能の習得ができていない。</li> <li>・調理したり裁縫をしたりする技術的な学習には、比較的意欲的に取り組む児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全面に配慮しつつ、繰り返し練習に取り組むことで技能の習得を図る。</li> <li>・家庭に協力を依頼し、日常的にお手伝いをしたりする中で、裁縫用具や調理器具に慣れさせる。</li> </ul>